

タウンミーティング記録 想いをこめて 未来につなぐ

日 時 令和 8 年 7 月 1 1 日(土) 午後 2 時～3 時 30 分

場 所 上野台二・三丁目自治会集会所

参加者 19 人



主な意見等

参加者 上野台小学校に通う 6 年生の子がいます。都市開発の影響で近隣の子どもが増えており、5～6 クラスという児童数が多く恵まれた環境で生活出来ており感謝しています。一方で不安なこととして、進学先である福岡中学校は生徒数がとても多くなっていると聞き、児童や生徒の人数ついて地域差が拡大してしまうのではないかと感じています。そこで、例えば東京都府中市のように進学先を選択できる制度を導入してはどうでしょうか。

市 長 現時点では進学先の中学校を自由に選ぶ制度はありませんが、小学校から中学校へ進学する際、希望する部活動がない場合等特別な事情がある場合には、指定校変更という制度がございます。また、今後の中学校生徒数の推移につきましては、上野台小学校については児童数が増えています、学区内の他の小学校では児童数は大きな増加は見込まれていないことや、福岡中学校の特別教室を普通教室に変更する工事も行っていることから、近年の生徒数増加には耐えられる見込みです。また、現在は少人数学級の導入もあり、収容人数としては現在の学校規模で十分に受け入れ可能であるため、安心して頂ければと思います。

参加者 保健センターと郵便局間の横断歩道について、信号機が無く横断の際にいつも不安を感じています。押しボタン式でもよいので信号機を設置してほしいです。

市 長 信号機の設置については、これまでも各方面からご要望をいただいております。該当の道路は市道であり、市が道路管理者ですが信号機や標識等は埼玉県公安委員会の管轄であり、市としましても以前より警察を通して要望を上げているところです。一方で、埼玉県公安委員会としては予算や優先順位等の都合があると考えられ、現状は設置には至っていない状況ですので、引き続き要望を上げてまいります。そのような中、市として少しでも交通安全対策に繋がるよう、黄色の横断旗を同横断歩道に設置しておりますので、横断に不安を感じる時は活用をご検討ください。

参加者 市役所本庁舎横のスクランブル交差点について、自動車側は赤信号にもかかわらず、歩行者信号が青になるタイミングで間違えて進行してしまう車を見ることがあり、不安に感じます。

市 長 該当の交差点については、以前、住民要望により斜め横断が可能なスクランブル交差点へ変更した経緯があります。自動車側信号が赤にもかかわらず勘違いしてしまっている方がいらっしゃることや、自転車につきましても、歩行者信号が青の時に横断歩道を乗車したまま通り過ぎてしまう方も見られます。警察では、横断歩道前での一時不停止の自動車に対する取り締まり強化や、青切符制度の開始に伴う自転車への取り締まりも強化しているところです。市としましても、横断歩道を渡るときは自転車を降りて横断しなければならないことなど、正しい交通ルールについて啓発を行っております。交通ルールについて理解されていない方もいらっしゃると思いますので、引き続き周知啓発に努めてまいります。

参加者 消費活性化クーポン、水道料金の減免については、とてもありがたいと思っています。また。昨年のタウンミーティングで要望したトイレトレーラー導入の実現や、市の職員に対しけん引免許取得を促していることについても、ありがたいと思っています。

トイレトレーラーに関連し提案なのですが、例えば、当市の総合防災訓練に、他市町村の公式マスコットがラッピングされたトイレトレーラーを活用することが出来れば、災害時等にトイレトレーラーを融通し合い助け合う仕組みを市民へアピールすることが出来るのではないかと考えます。

次に、先ほどお話のあった横断歩道への信号機設置について、私からも重ねて要望させていただきます。昨日の令和8年7月10日夕方、小

学校6年生が自転車で通行中に車とぶつかり、打撲と擦り傷の怪我を負ってしまう事故が発生しています。

最後に、民生委員が高齢化となり不足している状況があり、活動費の増額など費用面からの対応を検討して欲しいです。東京都では、活動費を3倍にしている事例があるようであり、ふじみ野市としても県へ要望するなどの検討をして欲しいです。

市長 まず、本市の総合防災訓練に他市のトイレトレーラーを活用するという御提案につきましては、トイレとしての機能を使用せず展示のみだとしても、被災時に複数の市町村がトイレトレーラーを融通し合う仕組みを市民のみなさまへアピールすることができ、確かに効果的かもしれません。

次に、信号機の設置につきましては、何より事故を防ぎたいと考えますので、引き続き要望を上げてまいりたいと考えます。一方で先ほどお伝えしたとおり埼玉県公安委員会としても予算や優先順位の事情ですぐに設置されるわけではないことや、信号機はつけば終わりではなく、その後も維持管理費用については市民の税金で賄われるものであることもあわせてご理解頂ければと思います。引き続き、市としましては事故防止のために要望していきたいと思います。

最後に、民生委員のなり手不足に関するご意見につきまして、社会の変化に対し制度の変更がされていないというのが実態だと考えます。民生委員が社会的に必要不可欠な存在であることは事実であり、制度が変わるのをただ待つわけにはいかないため、市として県に要望を上げるなど、できることについては前向きに検討していきたいと考えます。

参加者 イチョウ並木で2本の木が伐採された箇所がありますが、切り株のままになっています。アスファルトで平にしてみようなど、何か対策をしてもらいたいです。

また、ニュース等で全国的に桜の木が倒木しているという話を耳にしますが、当市の状況はいかがでしょうか。

市長 イチョウの木については、倒木等の恐れから伐採をし、予算の制約の都合もあり抜根は行っていない状況と考えます。限られた予算の中で優先順位を付けて対応する必要があることをご理解頂ければと思います。

倒木の件については、クビアカツヤカミキリの被害は周辺でも聞い

ており、市内でも先日発見され、職員が捕獲したところです。ナラ枯れ等の被害もあり伐採をしていることについて、事情を知らない方からするとなぜそんなに切り倒してしまうのかと思われることもあるかと思いますが、被害が拡大する前の必要な措置であることを、ご理解を頂きたいと思います。